**杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校は？優勝～3位結果予想！**

杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校についてまとめました。

優勝～3位の結果についても予想しています。

杜の都全日本大学女子駅伝は2023年10月29日（日）に開催され、12時10分にスタートします。

スタート地点は弘進ゴムアスリートパーク仙台。

ゴール地点は仙台市役所前市民広場で、6区間全長38.0kmのコースになります。

こちらの記事では、杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校や順位予想、注目選手についてまとめています。

**杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校**

全日本大学女子駅伝2023の出場校は、以下の通りです。

まずは前回大会の上位8チーム。

シード権を持っています。（8校）

* + 名城大学
	+ 立命館大学
	+ 大阪学院大学
	+ 大東文化大学
	+ 拓殖大学
	+ 日本体育大学
	+ 関西大学
	+ 早稲田大学

次に予選突破校（12校）

* + 東京農業大学
	+ 日本女子体育大学
	+ 明治大学
	+ 青山学院大学
	+ 埼玉大学
	+ 京都産業大学
	+ 神戸松蔭女子学院大学
	+ 龍谷大学
	+ 福岡大学
	+ 九州産業大学
	+ 長崎ウエスレヤン大学
	+ 熊本県立大学

そして5000m記録校（5校）

* + 東洋大学
	+ 中央大学
	+ 駒澤大学
	+ 帝京平成大学
	+ 桃山学院大学

最後にオープン参加校（1校）

* + 東北学連選抜チーム

以上が杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校になります。

**杜の都全日本大学女子駅伝2023順位予想優勝～３位**

それでは順位予想をしていきましょう！

優勝候補を1校に絞るのはとても難しいです…

優勝と2位争いは、名城大と大東文化大になると予想しています。

名城大は6連覇中で、各学年のエース4人と下級生から2人がメンバー入りすると思われます。

昨年の主力の4年生たちが抜けているのでチーム力は落ちているはずですが、毎年強いのが名城大です。

大東文化大は関東大会を圧勝した力のある1年生が何人も新加入していて、すごく勢いを感じます。

1区からいいスタートを切って勢いに乗れれば、悲願の初優勝の可能性もあります。

続くのが立命館大と大阪学院大の関西勢でしょうか。

立命館大は昨年2位で、今年も関西代表として強豪です。

大阪学院大は昨年3位で、今年は富士山女子駅伝で2位に入りました。

どちらも名城大や大東文化大に食らいつく可能性があります。

優勝～3位を選ぶのは難しく、3位以内に入りそうな4校に絞りました。

どの大学にも優勝の可能性があるということですね！

**杜の都全日本大学女子駅伝2023注目選手**

注目選手は、以下の3人が挙げられます。

不破聖衣来選手（拓殖大学）

昨年の大会で6区を走り、区間賞を獲得した選手です。

今年は1年生になり、拓殖大学のエースとして期待されています。

5000mの自己ベストは15分12秒76で、日本歴代2位の記録です。

小林成美選手（名城大学）

名城大学の主力で、昨年の大会では5区を走り、区間賞を獲得しました。

今年は4年生になり、チームのリーダーとして6連覇を目指します。

5000mの自己ベストは15分23秒88で、日本歴代5位の記録です。

山本有真選手（日本体育大学）

日本体育大学のエースで、昨年の大会では3区を走り、区間賞を獲得しました。

今年は4年生になり、チームの中心として上位進出を狙います。

5000mの自己ベストは15分32秒37で、日本歴代9位の記録です

**杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校は？優勝～3位結果予想！まとめ**

杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校は、

名城大学、立命館大学、大阪学院大学、大東文化大学、拓殖大学、日本体育大学、関西大学、早稲田大学（シード校）

東京農業大学、日本女子体育大学、明治大学、青山学院大学、埼玉大学、京都産業大学、神戸松蔭女子学院大学、龍谷大学、福岡大学、九州産業大学、長崎ウエスレヤン大学、熊本県立大学（予選突破校）

東洋大学、中央大学、駒澤大学、帝京平成大学、桃山学院大学（5000m記録校）

東北学連選抜チーム（オープン参加校）

以上26校です。

優勝予想は名城大と大東文化大の可能性が高いですね。

名城大学には注目選手の一人、小林成美選手もいます。

小林選手は今年がラストイヤーです。

チームのリーダーとしても期待されます。

以上、杜の都全日本大学女子駅伝2023出場校、優勝～3位結果予想と注目選手のまとめでした。